亀山地区社協創始５０年記念誌

かめやま



亀山地区社会福祉協議会

創始５０年史



福王寺山からの亀山（可部）の街

亀山地区社会福祉協議会

出来ることから

小さな福祉を

亀山の地から



ごあいさつ

亀山地区社会福祉協議会
会 長　大畠　正彦

亀山地区社会福祉協議会（亀山地区社協）は、今年９月１７日に創始５０年という輝かしい意義深い節目の年を迎えました。伝統のある亀山地区社協は、昭和５２年（１９７７年）９月１７日に設立しました。顧みますと、亀山学区内の住民の方々・自治会・民生委員・ボランティア等の方々の献身的な協力により設立されました。亀山地区社協は、亀山地区の実情に合った福祉活動や見守り、交流事業などを進める住民主体の組織として、お陰を持ちまして、先輩の方々のご指導により５０年を迎えました。

現在の地区社会福祉協議会は、人口減少、少子高齢化の傾向が一層顕著となり、独居高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化など、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。一方で、家事介護や子育て支援、安否確認、見守りなど、福祉に対する要望は複雑・多様化し、行政による公的サービスだけでは課題解決が難しくなっています。

そうした中、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けるためには、町や地域の実情をよく知る住民・地域活動者をはじめ、福祉関係者、事業者や行政等が得意分野を活かして役割を分担し、課題解決に努めていく必要があります。

この活動を推進するために、亀山地区社協では各自治会・町内会の協力により、福祉のまちづくり推進プランとして「いきいきサロンくつろぎ会」「ボランティアバンク」「近隣ミニネットワーク（見守り活動）」が実施されており、高齢者の居場所づくりとして成果を上げております。しかし、このような活動に参加されていない高齢者の居場所づくりが、これからの課題でもあります。このためには、学区内にある「福祉関係の事業所」「亀山地域包括支援センター」等の支援も必要となります。更には、これからの日本を作り上げていく「子育て育児支援」も大切です。

こうした暮らしの中にある地域の福祉課題に対して、そこで暮らす方々の「つながり」「支え合い」「見守り活動」、この３つを亀山地区社協が活動指針として掲げ、今後、どのように活かし活動を展開するかにかかっています。また、住民主体の組織で、地区内の諸団体３１団体が活動していますが、これらの団体からの地域福祉への活動支援も必要となると思います。

今後とも、人口減少、少子高齢化が進む中で、地区社協の役割は重要となり、これからの介護福祉事業で、介護を必要としている人ができる限り住み慣れた地域で生活が続けられるよう、安全で質の高い介護サービスを提供できる福祉活動を、「亀山地区社協として努めてまいります。」

今後とも皆様のご支援を、よろしくお願いいたします。



記念誌刊行への思い

亀山地区社会福祉協議会
創始５０年記念事業実行委員会
実行委員長　山口　定己

亀山地区社会福祉協議会が昭和５２年９月に創設され、今年で創始５０年の大きな節目を迎えました。創設時から今日まで、設立時の関係者をはじめ、亀山地区の各関係諸団体各位、安佐北区社会福祉協議会のご指導ご協力を賜りまして、５０年にわたり亀山地区の社会福祉活動ができましたことを心より感謝と御礼を申し上げます。

社協５０年間の節目で、平成９年に実施されました創立２０周年の記念誌刊行、記念事業。平成１９年には創立３０周年の記念誌刊行、記念事業を実施されました。それぞれの記念誌にて、社協創始からの各種事業活動、広報誌「かめやま」による地域情報、各地区の資料・記録や社協創始から色々な困難を克服しながら今日に至るまでの道筋、礎を築かれました諸先輩の方々のお言葉を拝見することができました。

創始５０年記念誌刊行への思いとしまして、平成１９年の創立３０周年記念誌刊行から１９年間、高齢化社会で様々な問題が発生する中での福祉活動、明るい健全な地域社会構築への取り組み、地域の人々が地域社会の一員として活躍できる場の取り組み、福祉活動が私たちの生活に大変身近な活動である、との思いで活動して参りましたご報告と共に、「住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま」を目指し、創始５０年以降の新しい時代を支える人材確保を目指すと共に、亀山地区社協の発展向上を目指し、地区内各種団体との連携を図り、地域住民皆様の参加で「福祉のまちづくり」を邁進して参りますので、これからも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、「亀山地区社会福祉協議会創始５０年記念誌」の刊行に際しまして、ご指導・ご寄稿等を賜りました方々に、心より厚く御礼申し上げます。

また記念誌刊行担当の記念誌部会の皆様、長期にわたり大変ご苦労をお掛け致しましたこと、本誌をお借り致しまして、御礼申し上げます。



お祝いの言葉

広島県議会
議 員　山形　しのぶ

このたび、亀山地区社会福祉協議会が創始５０年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

半世紀という長きにわたり、地域福祉の推進にご尽力されてきた大畠正彦会長をはじめ、歴代会長の皆様、役員、関係者、そして地域住民の皆様のたゆまぬご努力に、深く敬意を表します。

亀山地区社会福祉協議会におかれましては、高齢者支援や見守り活動、子どもたちの健全育成、地域交流事業など、人と人とのつながりを大切にした温かな地域づくりに取り組んでこられました。その活動は、地域住民に安心と支え合いの心を育み、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちづくりに大きく貢献されていると実感しております。

近年は、社会を取り巻く課題も多様化しておりますが、こうした時代だからこそ、地域に根差した社会福祉協議会の活動は、地域の皆様の心の力に繋がっていると思います。

今後も、これまで築いてこられた歴史と信頼を礎に、亀山地区のさらなる発展と地域福祉の向上のため、なお一層ご活躍されますことをご祈念申し上げます。

結びに、亀山地区社会福祉協議会の益々のご発展と、地域の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



お祝いの言葉

広島市安佐北区
区 長　立石　哲夫

亀山地区社会福祉協議会が創始５０年という大きな節目を迎えられましたことに、安佐北区を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

これまで半世紀にわたり、地域住民一人一人の生活福祉の向上を願い、安心して共にくらし、支えあう潤いのあるまちの実現に向けて、たゆみない歩みを重ねてこられた関係者の皆様のご尽力に、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

「出来ることから 小さな福祉を 亀山の地から」という理念のもと、誰もが主役となる地域づくりを進めてこられた亀山地区社会福祉協議会の活動は、まさに地域福祉の原点として模範となるものであり、これらの活動は、地域に確かな安心と温もりを育んでこられました。

近年、少子高齢化や地域のつながりの希薄化など、地域福祉を取り巻く課題は一層多様化している中で、皆様の活動は行政にとっても大変心強い存在です。今後も皆様と連携させていただきながら、共に持続可能な地域づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

今後も亀山地区社会福祉協議会が地域の絆をさらに強め、素晴らしいまちづくりを進められますことを心より期待し、ますますのご発展とご健勝を祈念してお祝いの言葉といたします。



お祝いの言葉

安佐北区社会福祉協議会
会 長　辻本　敬規

亀山地区社会福祉協議会が創始５０年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

設立以来５０年にわたり、自治会・町内会及び各種団体と連携し、地域福祉の発展、向上に取り組んでこられました関係者の皆さまのご尽力に、心より敬意と感謝の意を表します。

「住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま」を活動の基本として、地域住民の課題を真摯に受け止め、いち早く課題解決に向けた取り組みを実施するなど、地域福祉の推進役として福祉のまちづくりを進めてこられました。

平成２３年には、亀山地区社協事務所「社協かめやま」、令和２年には四日市役場に「社協かめやま分室」を開設され、地域住民の相談窓口、気軽に集える地域のよりどころとして、地域住民をつなぐ「場」の役割を担い、関係機関等と連携した多様な活動を継続されています。

本会といたしましても、今後も皆さまとともに、福祉のまちづくりの推進に取り組んでまいりますので、引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と皆様方のご健勝ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

歴代の会長



【初 代】

故 岩田 定人氏 （勝木）

昭和５２年～昭和５９年

=活動方針=

青少年育成の推進、環境の美化運動並びに
新生活運動研究など、生活改善の推進



【２代目】

故 古殿 初氏 （四日市）

昭和６０年～昭和６４年

=活動方針=

“ひとりくらしの老人の集い”など、
地域の問題として解決を図っていく場を設ける



【３代目】

故 若藤 貞夫氏 （中大毛寺）

平成元年～平成２０年

=活動方針=

“思いやりと　支え合いのまち　かめやま”

“安心して　安全に暮らせる　思いやりのあるまち かめやま”

いきいきサロン「くつろぎ会」の発足



【４代目】

大畠 正彦氏 （四日市）

平成２１年～令和８年現在に至る

=活動方針=

“出来ることから　小さな福祉を　亀山の地から”

“住んで安全　暮らして安心　絆のまち かめやま”

略称一覧

	名　称	略　称
1	亀山地区社会福祉協議会	亀山地区社協
2	広島市社会福祉協議会	広島市社協
3	安佐北区社会福祉協議会	安佐北区社協
4	亀山学区自治会・町内会連絡協議会	亀山学区自治連
5	亀山学区防犯組合連合会	亀山学区防犯
6	亀山学区自主防災会連合会	亀山学区自主防
7	亀山学区青少年健全育成連絡協議会	亀山学区青少協
8	かめやままちづくり協議会	かめやまエルモ
9	広島市亀山地域包括支援センター	亀山地域包括センター
10	亀山民生区民生委員児童委員協議会 民生委員・児童委員	亀山民生児童委員
11	亀山学区子ども会育成連絡協議会	亀山学区子ども会育成会
12	亀山学区献血推進協議会	亀山学区献血協力会
13	亀山学区体育協会	亀山学区体協
14	亀山学区公衆衛生連絡協議会	亀山学区公衛協
15	公益財団法人広島市文化財団 亀山公民館	亀山公民館
16	地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院	安佐市民病院
17	安佐医師会病院	安佐医師会病院
18	広島市立亀山小学校	亀山小学校
19	広島市立亀山中学校	亀山中学校
20	広島市立亀山南小学校	亀山南小学校

※諸団体の正式名称は、文中において略称で表示したところもあります。

創始５０年史

はじめに	亀山地区社協福祉協議会会長	大畠　正彦
記念誌刊行への思い	創始５０年記念事業実行委員長	山口　定己
お祝いの言葉	広島県議会議員	山形しのぶ
お祝いの言葉	広島市安佐北区長	立石　哲夫
お祝いの言葉	安佐北区社会福祉協議会会長	辻本　敬規

歴代の会長

目　次

第１章　亀山地区社会福祉協議会の歩み

Ⅰ　概　要・・・

６　いきいきサロン･くつろぎ会（学区内９会場）・・・・・・・・・・・２９
７　子育てサロン（令和１６年度､平成１８年度開設）・・・・・・・・・２９
８　福祉バザー（平成２０年度～令和７年度）・・・・・・・・・・・・２９
９　食中毒予防講習会（平成２１年度～平成３０年度）・・・・・・・・２９
１０　在宅要介護者並びに介護者･高齢者（９５歳以上)への
激励訪問と配食　・・・・・・２９

第３章　福祉活動の現状

Ⅰ　最近の福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
Ⅱ　主な活動の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
Ⅲ　福祉活動の一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０

特　集　その１

Ⅰ　亀山地区社会福祉協議会に寄せる・・・・・・・・・・・・・・・・４１

安佐北区社協事務局長	坂本　泉	亀山学区体育協会会長	迫田　和英
亀山地域包括支援センター長	室元奈津子	亀山学区青少協会長	升本　洋二
広島市立亀山小学校校長	川口　和郷	亀山学区子ども会育成会会長	末廣　一
広島市立亀山中学校校長	常井慎太郎	亀山学区公衛協会長	花本　雅基
亀山公民館館長	児高　静博	亀山学区防犯組合連合会会長	中坊　寛
亀山学区自治連事務局長	大下　雅義	亀山女性会会長	大田　隆子
亀山民生児童委員副会長	淺枝　桂子	亀山学区自主防災連合会会長	横田　公荘

Ⅱ　亀山地区社協への思い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

元広島県議会議員	山崎　正博	元亀山学区自治連会長	山本　幸
元安佐北消防団亀山団長	大田　哲文	元亀山民生児童委員会長	中坊　睦芽
元亀山学区体育協会会長	杉野　俊昭	元亀山学区青少協会長	清見　邦昭
元亀山女性会会長	山崎千代子		

特　集　その２

郷土亀山の歴史と歩み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

第４章　資料に見る亀山５０年（各統計表）

Ⅰ　資料に見る亀山地区社会福祉協議会・・・・・・・・・・・・・・・６１
Ⅱ　資料に見る亀山地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５

参　考：会則全文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２
おわりに　創始５０年記念事業実行委員会 実行副委員長　濱田　昭法・・・・・７６
編集後記　記念誌編集部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７